

発行 NP0 法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋

うえるかむ通信

〒273-0046 船橋市上山町 1-157-4 (カメラハウス 2 階) 発行責任者 赤津 保子
船橋法典駅下車徒歩 8 分 TEL047-710-7045 / IP 050-3496-9981 / fax047-419-2655
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/watowawelcome/> Email ; qqxt3s29n@canvas.ocn.ne.jp
ホームページ <http://welcome-funabashi.org/>



《繋がることの大切さ》

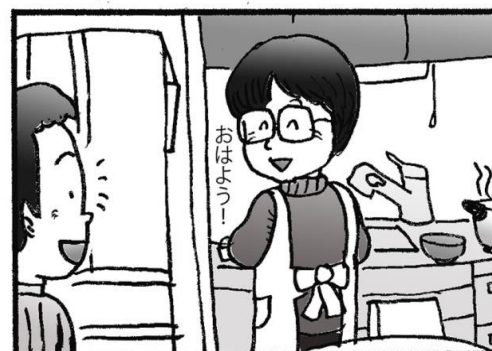
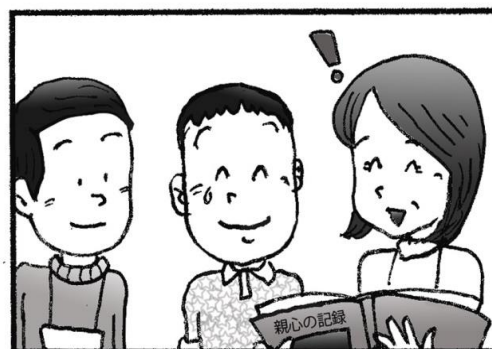
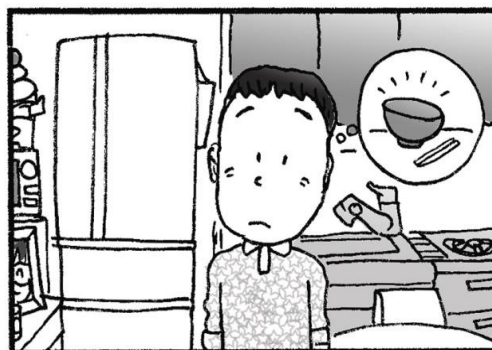
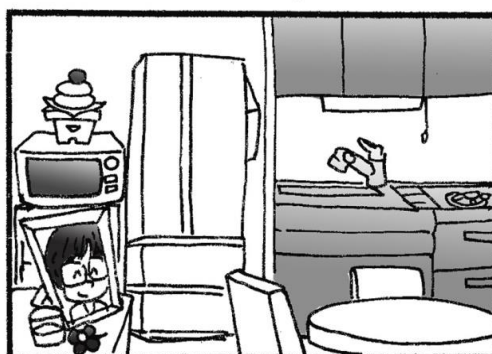
相談支援専門員・けいよう施設長 古川世志恵

こんにちは。魔法のランプの古川と申します。けいようとの兼務もさせて頂いていますので、どちらの事業所名を語ったら良いのか…と思いますが、今回は魔法のランプの相談支援専門員としての立場から後見人さんの事についてお話しさせて頂こうと思います。

私が相談支援専門員として担当させて頂いている方の中で、ご身内以外の方が後見人さんや保佐人さんに付いていらっしゃる方は 4 名いらっしゃいます。その中のお一人、A さんという方は、まだお若い 20 代の男性です。平日は毎日お仕事をし、グループホームで生活されています。A さんに、まず後見人さんをお願いしようとなった時に、役所の方にも入っていただきご本人にお話しをしました。後見人さんはどういう人なのか？どんな事をお手伝いしてくれるのか？等々。大まかな事は理解して頂いたようでしたが、「良くわからないけど女の人の方が良いな」と。A さんは男性に少し苦手意識があるようです。しかし、職場では男性の方に随分とお世話になっているようなのですが…。A さんに女性の後見人さんが付いてくれるようになって 3 年と少し経ちます。これまで A さんは、後見人さんに支えられてきました。体調が悪いと連絡がくれば、病院を探して連れて行ってくれたり、洋服が欲しいと聞けば買い物に連れて行ってくれたり、一つひとつとても丁寧に接してくださるのです。後見人さんの本来の仕事ではない事のほうが遥かに多いと感じています。でもそういった中で A さんとの関係性が築かれ、信頼関係に繋がっていったのだと思います。A さんの事をわかってきている、A さんの代弁者になってくれている、A さんと後見人さんの関係を見聞かしていると心から思います。安心できるのです。これからも、このような良い関係がずっと続いてくれる事を願っています。

そして最後に。人は決して一人では生きていけません。関わる人が多ければ多い程その人の暮らしは豊かになると思います。A さんにとって、これからも沢山のひととの出会いがある事、繋がりが広がることを願いながら、私も今後、相談支援専門員としての役割をきちんと果たし後見人さんと連携を高め、A さんの長いこれからの人生がより充実したものになるよう支援していきたいと思います。

権利擁護漫画うえるちゃん
NO.47「初夢」
原画・武藤 & 原案・赤津



① たかしさん、目が覚めたからお母さんもだれもいません。家中シーン。遺影が？

② 「お腹すいたな。どうしよう？」「何かないの？」「かあちゃん、あー！」「メソメソ。」

③ その時、たかしさん担当の職員がやって来て、親心の記録を見ながら好物を作ってくれました。でも…。

④ 台所の物音で目が覚めた。たかしさん。「かあちゃんいたのか。あれは初夢？ああ良かった。大事にするからね」

勉強会の
お知らせ

3月20日（水曜日）遺言書を学びましょう

講師 岩田康孝弁護士（湊町法律事務所・047-436-8390）

「こんな遺言書、あんな遺言書、のこしたい遺言書と取り扱い方法」

場所 高根台公民館 実習室（2階）新京成線「高根公園」下車徒歩1分

時間 10時15分から11時45分 途中入場OKです

内容 これらのキーワードほか、遺言書に必要なことを解説していただきます

相続

誰が相続
できるの

残りの
ローン

不動産の相続
土地の価格

遺産分割と
遺産分割協議

自筆証書遺言

公正証書遺言

いくらかの
資産があつ
たら必要？

遺言執行者

その他

日付

印

生命保険は…

氏名・住所・年月日

保管方法

わからないこと・忘れて
はいけない決まりごと

笑顔のサプリメント

を70歳くらいのご婦人が歩いていました。なんと！その方の足元から細長い黒い何かがスルッと落ちました。

「ももひき？ 彼女は気付く事なくそのまま渡ってしまいました。後ろを歩いていた私は悩みました。拾うべきか？ 拾わざるべきか？ 横断歩道の真ん中です。歩行者は他に居ませんが、信号待ちをしているドライバーの人達には心なしに注目されているような気がして…。」

「えいっと覚悟を決めて拾い上げ、小走りで彼女に追いつき、そして、掴んだ右手を差し出して「これ、落としましたよ」と。

さて、そのような快い環境で仕事をしている私に、ある初冬の日「事件」は起きました。事務所からの帰り道、駅に向かって急ぎ足で歩いて横断歩道に差し掛かった時、少し前

◇事件はカメラリアハウスの方達とは無関係です、念のため：◇

論、私が見ているのは表面的なことです。職員の方達や通所の方達はそれぞれ苦労はあるかとは思いますが、しなやかに、これからも生き抜いて欲しいなあ、と思います。

私がうえるかむの事務仕事をしている職場はカメラリアハウスの2階にあります。カメラリアハウスの職員の方達は若く、いつもテキパキと仕事をしています。通所している方達に対しては無邪気に見える方に対しては子供扱いする事なく同じ目線で問いかけます。またカメラリアハウス全体はいつも清潔で、本当に頭が下る思いです。通所している方達は、明るく、何かに熱中していたり、楽しくお話ししたりして、とても微笑ましく感じます。勿論、私が見ているのは表面的なことです。職員の方達や通所の方達はそれぞれ苦労はあるかとは思いますが、しなやかに、これからも生き抜いて欲しいなあ、と思います。

《ももひき事件》

中村優子 うえるかむ事務局

その途端、彼女は固まってしまい、数秒後に「私の物ではありません！」「予想外の言葉に、今度は私が固まりました。「え・え・えっ！」「てっきり受け取って貰えると思っていたのにどうしよう。この黒い生暖かい物を掴んだまま電車に乗らなければならぬのか。」

向かい合ってお互い無言の後、少し経ってからそのご婦人は「もしかしたら私の物かもしれないから持って帰るわ」と言って去って行きました。そして私は心からほっとしたのでした。

あれから2年。今でも時々思い出します。あの感触と緊張感を（笑）。果たして、私の取った行動はよかったのでしょうか。読者の皆様ならどうしますか？是非教えて頂きたいと思えます！

中村優子さんには長年うえるかむで事務員としてお手伝いをして頂いています。



本年もよろしく

<http://welcome-funabashi.org/>

047-710-7045 不在のときは
090-1217-3003（赤津携帯）へ転送
されます。お気軽にどうぞ！